

市長就任あいさつ（令和 2 年 8 月号市報掲載）

「市民とともに 笑顔あふれるまちに」

この度の境港市長選挙において、当選の栄に浴し、市政の重責を担わせていただくこととなりました。

責務の重大さに身の引き締まる思いではありますが、選挙中に掲げた公約の実現とさらなる市勢の進展、市民福祉の向上に懸命に取り組んでまいります。

中村前市長におかれましては、4期16年、徹底した行財政改革による自立・持続可能な財政基盤の確立、市民参画による協働のまちづくり、中海・宍道湖・大山圏域の市町村との連携による圏域づくり、「港湾」「空港」「漁港」「水産資源」「観光資源」を生かしたまちづくり等、境港市の将来都市像である「環日本海オアシス都市」の実現に向け、着実に歩みを進められたことに対し、深く敬意を表するところであります。

私は、これまでの「良いもの」は継続発展させ、「変えるべきもの」はスピード感を持って大胆に変える姿勢で臨み、38年間の行政経験とボランティア活動で培った知識、知恵、人脈を生かし、市民の皆様とともに将来に向け発展し続けるまちづくりに邁進してまいります。

「高齢者に寄り添い、子どもたちを見守る。となり近所が支えあい笑顔あふれるまち。」「港湾、漁港、空港、水木しげるロードや海辺が賑わい、市民や境港市を訪れた皆さんの笑顔があふれるまち。」そんな日本一住みたいまち「さかいみなど」を目指すために、次の8つのことに徹底して取り組んでまいります。

- 協働のまちづくりと共生社会づくり
- 人口減少対策と子育て支援
- 支え愛による超高齢社会対策
- 「さかな」「鬼太郎」「港」を生かした産業振興
- 私たちが誇れる大切な海を守る環境づくりや、
空き家などの生活環境対策
- 中海・宍道湖・大山圏域の高規格幹線道路等の早期実現
- 未来につけを回さない行財政運営
- 新型コロナウイルス感染症対策

「市民とともに笑顔あふれるまち」を目指し、「公正」と「利他の心」をもって、市政運営に徹してまいりますので、市民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任の挨拶とさせていただきます。